

1	指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2	指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日(3年間)
3	業務の範囲	1 小泉交流センターの事業の実施に関すること。 2 小泉交流センターの維持管理に関すること。 3 施設の使用及び目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 小泉交流センター運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数 ×営業時間)	—		平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。	—	
			②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上:10点、105%未満～95%:8点、95%未満～85%:6点、85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 8点	乳幼児はイベントでの職員の声かけ等でクラブに入る親子が増え来館者増加に繋がっている。小学生は学校のピロティで遊ぶ子が多く来館者が減少した。中高生は小学生が中学生に進学しても引き続き遊びに来てくれ、増加に繋がっている。 【令和7年度】 ※児童センター 来館者数 13,832人 乳幼児 2,910人 小学生 6,669人 中高生 1,299人 大人 2,954人 ※交流スペース 来館者数 2,695人 乳幼児 156人 小学生 477人 中高生 11人 大人 2,051人 合計来館者 16,527人 【令和6年度】 ※児童センター 来館者数 14,259人 乳幼児 2,564人 小学生 8,355人 中高生 906人 大人 2,434人 ※交流スペース 来館者数 3,040人 乳幼児 68人 小学生 519人 中高生 29人 大人 2,424人 合計来館者 17,299人 【令和5年度】 ※児童センター 来館者数 14,813人 乳幼児 3,181人 小学生 8,015人 中高生 567人 大人 3,041人 ※交流スペース 来館者数 2,489人 乳幼児 42人 小学生 254人 中高生 1人 大人 2,192人 合計来館者 17,302人	8点	
					平均値比(上記(2)適用) 【全体】96%=(R7)16,527人÷(R5～R6平均)17,301人 【児童センター】95%=(R7)13,832人÷(R5～R6平均)14,536人 【交流スペース】97%=(R7)2,695人÷(R5～R6)2,765人					
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	【小泉児童センター】 ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計64回開催、延べ1,456名参加) ・児童を対象とした事業(計61回開催、延べ831名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計2回開催、延べ504名参加) ・中高生対象事業(計8回開催、延べ42名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計28回開催、延べ313名参加) 【地域交流スペース】 ・会議、展示会および市民活動のための施設提供に関すること(計52回開催、延べ606名参加):うち児童センター事業実施分:計37回、494名) ・その他地域交流促進のための施設提供に関すること(計13回開催、延べ319名参加) ※別紙:事業評価表参照	仕様書以上 13点	【児童センター】 ・乳幼児クラブはアンケートの意見を取り入れ、このクラブでしか経験できない内容で口込みも広がり参加者増となっている。 ・小学生クラブは一輪車や子どもスタッフで、高学年が低学年をリードし進めることができるようになってきている。 【交流スペース】 ・展示スペースに子ども達が製作した作品を展示し、家族や幅広く来館者に見ていただけている。 ・郷土資料学習会や、生涯学習講座、技の交流事業、運動場の活用事業を企画実施した。 ・新規事業では、中京学院大学生に講師を依頼したやさしい手話やマジックを体験しよう、大学生とあそぼうなど企画し、子ども達に大変好評であった。	13点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計66回開催、延べ909名参加) ・児童を対象とした事業(計43回開催、延べ532名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計26回開催、延べ534名参加) ・中高生対象事業(計10回開催、延べ57名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計5回開催、延べ48名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 14点	【児童センター】 ・乳幼児事業は、体操教室の問い合わせが多く、各回すぐに定員に達する人気の教室となっている。 ・児童対象は小学生の意見を聞きながら事業を企画し、新たにトマトの栽培など食育事業に力を入れた。 ・地域交流事業、多世代間交流事業は初事業として移動土岐川観察館を行い親子での参加者も多く、好評であった。	14点		

2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレ・備品の清掃:毎日 ガラス・照明器具の清掃:年2回 床面ワックスがけ:年3回 館庭の清掃:2週間に1回 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、こまめに様子を見て清掃している。 害虫ねずみ等の駆除 年4回	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数、実施している。	10点
			②保守・点検			電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。 低木の剪定。	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施している。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			④小規模修繕			軽微な修繕箇所を発見した際は、即座に現場において対応し、職員が処理できるレベルでの修繕を心掛けている。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。 道路へ飛び出し注意や駐車場の使い方について日頃より伝えている。 館内にハザードマップを掲示している。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定。夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 コピー等館内の物はできる限り裏紙を使う。 工作ではトイレットペーパーの芯や古新聞、飲料容器等の廃材を積極的に使用している。 関係機関への連絡はメールを利用している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			③バリアフリー			バリアフリーの建物の構造を活かし、点字ブロックの上に物を置かないよう周知している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			④備品管理			備品台帳の原本はこども家庭課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			⑤個人情報保護			労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団として『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管の上管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故無し。	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして、保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支	-	-	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入15,824,705円 ÷ 支出 16,684,772円 ≒ 95% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。(令和3年度から)			-
		(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・館内掲示、ホームページ、SNSを活用したPRをおこない、来館者の増加につなげる努力をしている。 ・図書コーナーの多数の書籍を多く触れる事ができるように、順次ローテーションをして、子どもたちの読書への興味を刺激できるような配慮をしている。お勤め本を飾り、手に取りやすいよう工夫した。 ・学校の休業日や行事を考慮した事業実施日程を設定している。 ・一輪車クラブにおいて地域のイベントの参加依頼が増え、各イベント毎にメンバーや構成を変更し練習を行った。 ・乳幼児クラブ、小学生クラブでのアンケートをふまえ、次年度のプログラムに反映させている。 ・年度初めに子どもスタッフの活動をどのように行いたいか意見を募り、活動の内容や役割分担を行った。	期待以上 13点	【児童センター】 ・窓口にアンケート箱を設置、投書された感想や意見は職員で共有している。 ・クラブ内でアンケートを実施し、意見を活動に反映させている。 ・小学生や中高生との会話の中から出た意見を基に、イベントの回数や内容を検討し実施している。 【交流スペース】 ・会議室利用時にチェックシートを渡し、使用についての意見、感想を受け付けている。 ・会議室の料金等の利用案内をわかりやすく掲示している。	13点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点

4	より良い施設運営 のための取組 (35点)	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、 上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 ・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催(オンライン) ・法人内児童館職員研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:多治見市社会福祉協議会】5/29 電動草刈り講座【主催:東海事業部】6/16 乳幼児保育者研修会【主催:児童健全育成推進財団】6/24～6/27 児童厚生員等基礎研修【主催:多治見市】6/28・6/29 防火管理者講習 【主催:多治見事業所】7/14 救急救命講習 【主催:多治見市】7/30 子どもの権利セミナー「第1部 令和6年度子どもの権利擁護委員会活動報告会 第2部 不登校の子が一歩を踏み出すとき」【主催:多治見市】10/1・1/21 多治見市地域子育て支援ネットワーク 【主催:多治見事業所】11/10 BCP研修【主催:岐阜県】1/9 令和7年度岐阜県放課後児童支援員等資質向上研修 【主催:多治見市】1/14 たばこ対策講習会 【主催:東海事業本部】1/19 アサーティブコミュニケーション研修 2/19 コンフリクトマネジメント研修 【主催:東海事業本部】1/23 性虐待の理解と職員の心構え 【主催:東海事業本部】1/28 コンプライアンス研修【主催:こども家庭庁】2/13 「こども性暴力防止法」に関する事業者向け全国説明会	期待以上 13点	・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めている。	13点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	対応に不備なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計86点
							全体的な評価 ・交流センターとしての特性を活かし地域との連携を図っている。 ・来春の中京学院大学の多治見へのキャンパス移転に伴い、連携事業等積極的に行っている。	極めて良好